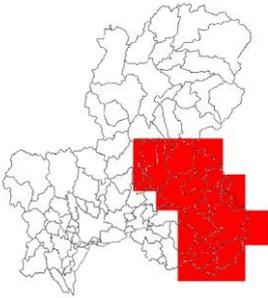


メヤブソテツ	<i>Cyrtomium caryotideum</i> (Wall. ex Hook. et Grev.) C.Presl	絶滅危惧 I 類
		オシダ科
選定理由	個体数が極端に少なく、生育地が人の生活領域に含まれているため、環境の変化による種の存続への圧迫に絶えずさらされている。	写真(高水正夫)
形態の特徴	常緑性のシダ。ヤマヤブソテツに似ているが、羽片は2-6対、先端が鋭くとがる 耳垂は上下につくことが多い。羽辺の縁は鋭細重鋸歯となる。	
生態的特徴	山林中の林床に生育する。	 
分布状況	本州(関東、中部、紀伊半島)から九州の山地にまれに分布する。岐阜県では県南東部に分布する。	
減少要因	道路沿いの林縁部に生育しており、下草刈りの対象にもなっている。	
保全対策	山林開発、道路建設、下草刈り等による環境変化の防止。	
特記事項		
参考文献		※生育地保全のため、広範囲の分布図を表示しています。

文責:村瀬正成